



県内 Stage1 継続中！ 新型コロナウイルス感染症

令和4年6月29日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第25週分・6月20日～6月26日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、6月26日時点で9,233,634例となり、31,118例の死亡が確認されています。全国の感染者数は4月中旬から減少傾向となり、6月に入ってからほぼ横ばいの推移となっています(図;折れ線グラフ)。

県内では、今週の感染者数は629例であり、全国のグラフと同様に横ばいとなっています(図;棒グラフ)。県衛生研究所で行った新型コロナウイルス変異スクリーニング検査では、5月下旬時点でオミクロン株(BA.2系統)が100%となりました。県内

でも全国と同様に、BA.1系統より感染性が高いとされているBA.2系統に置き換わっていると考えられます。BA.1系統とBA.2系統との間に感染性に若干の差はあるものの、実際の入院リスク及び重症化リスクに関する差はないことが報告されています。さらに、ワクチン追加接種によるBA.1系統とBA.2系統に対する発症予防効果についても差がないとされています。また、今月17日にはゲノム解析によって、BA.2系統の中で米国で主な流行株となっているBA.2.12.1株が県内で初確認されました。県衛生研究所では引き続きゲノム解析を行い、オミクロン派生株の動向を注視していきます。

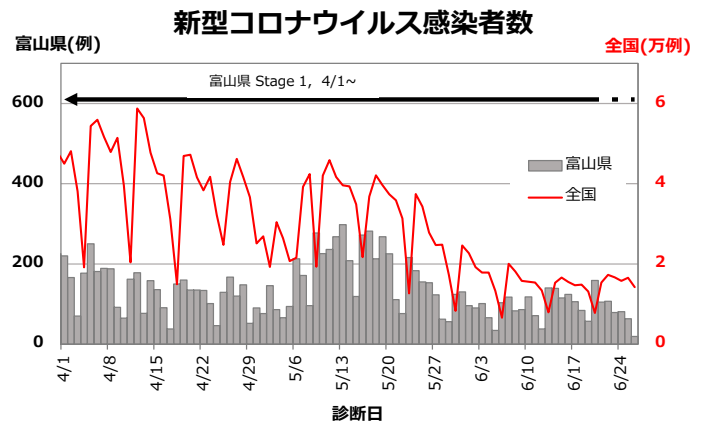
更なる感染拡大の防止のためには、ワクチンの追加接種や基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が重要です。3回目接種によりオミクロン株に対しても発症予防効果が期待できることから、接種機会を得た12歳以上の方は速やかに接種することが推奨されます。体がだるい、熱がある、のどに違和感がある等の症状がある場合は、比較的症状が軽くても出勤や登校、外出や人と会うことを控え、速やかに医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。また、ワクチン接種を受けられない方、感染している可能性に不安を抱える方などを対象にPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HPよりご確認ください(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)。

《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 629件(暫定値)
二類感染症 結核 3件(①60歳代、男性 ②70歳代、女性 ③80歳代、男性)
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件(①男性 ②女性 ①②共に10歳代、O157、VT2)
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(70歳代、男性)
梅毒 2件(①第24週診断分:50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期
②30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	4.55(↓)	5.86
2位	手足口病	0.97(↑)	0.66
3位	突発性発しん	0.55(↑)	0.38
4位	咽頭結膜熱	0.52(↓)	0.69
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.10(↓)	0.41
	ヘルパンギーナ	0.10(→)	0.10



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第25週 令和4年6月20日～令和4年6月26日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	51	64	226	63	224 ^{※1}	1	629	3,270	2,792	8,540	3,210	17,000 ^{※1}	172	34,984
二類感染症	結核		2	1				3	1	4	21	8	19		53
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					2		2		1	4		5		10
四類感染症	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症								3		8	2	9		22
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	ウイルス性肝炎										2				2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1		1			3	2	5		10
	急性脳炎										2				2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		5		13
	後天性免疫不全症候群												1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		2		3
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		3		5
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒			1					1	2	6	3	19		30
	播種性クリプトコックス症												3		3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症			1				1	30	18	255	56	285		644
	咽頭結膜熱	2	1	6		6		15	39	33	148	8	70		298
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		1		1		3	27	10	95	22	162		316
	感染性胃腸炎	25	8	56	5	38		132	458	549	1,430	538	1,596		4,571
	水痘			2				2		8	31	1	25		65
	手足口病		2	26				28	2	19	187	3	56		267
	伝染性紅斑								1		4	1	3		9
	突発性発しん		2	7	1	6		16	18	13	79	22	63		195
	ヘルパンギーナ	1		2				3	47	7	26	2	7		89
	流行性耳下腺炎								1		5	3	1		10
	流行性角結膜炎								8	2	6				16
	細菌性髄膜炎											1	1		2
	マイコプラズマ肺炎											1			1
	インフルエンザによる入院患者（※3）										1	3	1		5

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。